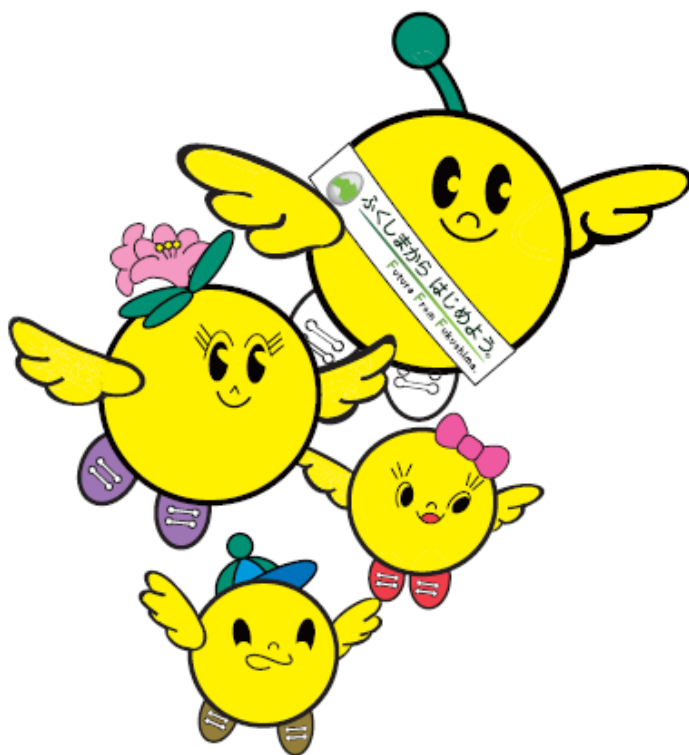


福島県東日本大震災子ども支援基金

事業報告書



福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまから はじめよう。キビタン」

福島県
〔平成28年度版〕

ご あ い さ つ



平成23年3月の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から5年余が経過いたしました。

この間、国内外の多くの皆様から様々な御支援をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

震災と原発事故後、前例のない困難な状況が続く中、これまで常磐自動車道の全線開通、檜葉町の避難指示解除に加えて、葛尾村と川内村で避難指示解除準備区域、居住制限区域が解除され、南相馬市や飯舘村においても解除に向けた手続きが進められるなど、避難地域の復興に向けた取組とともに、福島の復興は着実に前に進んでおります。一方で、今なお多くの方々が避難生活を続けられており、風評と風化の2つの逆風など、原子力災害という重荷を背負った福島の復興はいまだ途上にあります。

こうした中、被災した子どもたちを長期的、継続的に支援するため、皆様からお寄せいただいた「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を活用し、保護者が死亡したり行方不明となった児童（遺児・孤児）に対する支援に加えて、本県の子どもたちが、様々な困難を乗り越え、心身ともに健やかに育つための施策に活用させていただいております。

本県に心を寄せてくださる全ての方々と力を合わせて、ふくしまの明るい未来を切り拓いてまいりますので、今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

平成28年7月

福島県知事 内堀 雅雄

福島県の被害状況

平成23年3月11日14:46に三陸沖を震源として発生した「平成23年 東北地方太平洋沖地震」は、マグニチュード9.0を記録し、観測史上最大の地震でした。

最大震度7を記録した激しい揺れとともに、広い範囲で大津波が押し寄せました。



※県浜通り北部（南相馬市、相馬市の状況）

本県では、東日本大震災により、多くの子どもたちが親を失いました。

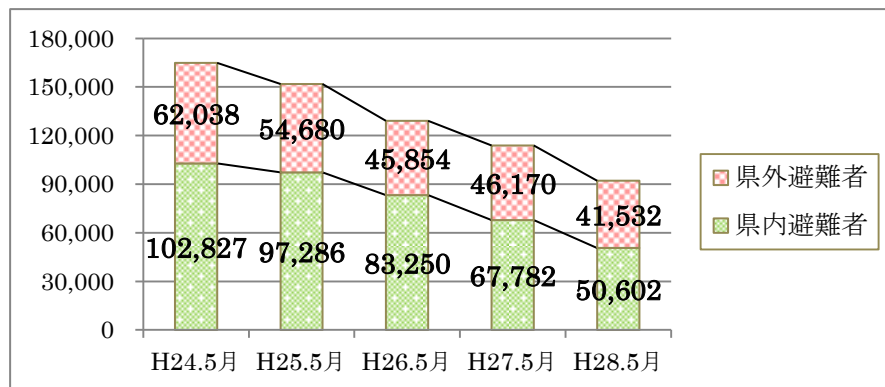
加えて、原子力災害により、住み慣れた土地からも離れなければならない子どもたちも多く、様々な喪失体験により、幼い心に多大なる負担がかかっています。

しかしながら、このような状況においても、子どもたちが震災前に抱いていたそれぞれの夢をあきらめることなく、着実に前に進んでいくことができるよう、皆様からの善意の寄附をいただき、長期的な支援を行っていきたいと考えております。

福島県の避難者の状況

避難者数は、平成24年5月をピークに減少を続け、平成28年1月時点で10万人を下回りましたが、まだ多くの方々が避難を続けておられます。

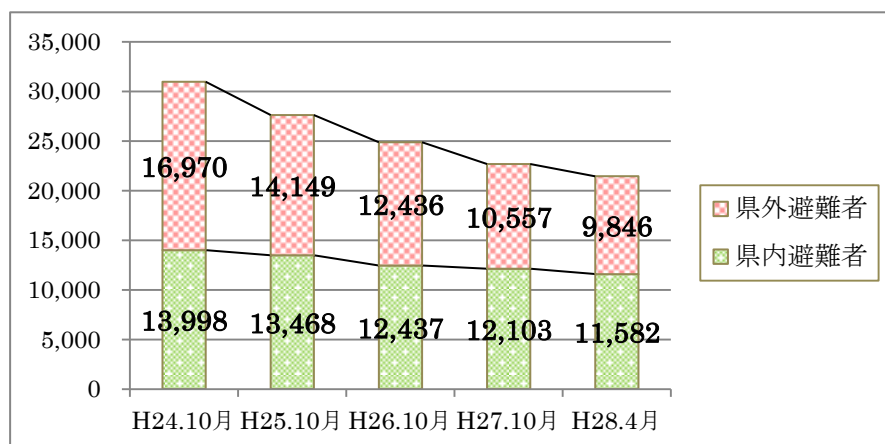
1 避難者の推移



出典：福島県災害対策本部公表資料

2 子どもの避難者（18歳未満避難者）の状況

単位(人)



出典：福島県子ども・青少年政策課調べ

「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」について

福島県では、平成23年8月から東日本大震災による震災孤児等への支援のための寄附口座「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」を開設しています。

○ 寄附の状況（平成28年3月31日現在）

寄附件数 12,579件 寄附額 4,968,851,556円

○ 被災孤児、遺児（平成28年3月1日現在）

・孤児：24人（孤児：両親若しくは単親の場合、現に養育していた親が死亡又は行方不明となった児童）

・遺児：175人（遺児：両親のうちいずれかが死亡又は行方不明となった児童）

「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」について

1 福島県東日本大震災子ども支援基金給付金

福島県東日本大震災子ども支援基金条例を制定し、東日本大震災ふくしま子ども寄附金を基金に積み立て、東日本大震災により、保護者が死亡又は行方不明となった児童（孤児・遺児）に対して、生活及び修学を支援するための給付金を給付する事業を実施しています。

1 対象者 東日本大震災により保護者が死亡し又は行方不明となった児童

2 給付期間 大学等卒業までの期間

3 給付金の種類及び金額

(1) 月額金

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ア 未就学児童 | 月額（孤児：30,000円、遺児：20,000円） |
| イ 小・中学校に在籍する者 | 月額（孤児：40,000円、遺児：30,000円） |
| ウ 高等学校等に在籍する者 | 月額（孤児：50,000円、遺児：40,000円） |
| エ 大学及び専門学校等に在籍する者 | 月額（孤児：60,000円、遺児：50,000円） |

(2) 一時金

- | | |
|--------------|----------|
| ア 小学校入学時給付金 | 30,000円 |
| イ 小学校卒業時給付金 | 50,000円 |
| ウ 中学校卒業時給付金 | 100,000円 |
| エ 高等学校卒業時給付金 | 300,000円 |

4 給付実績（平成28年3月31日現在）

給付実人員 188人 総給付額 346,830,000円

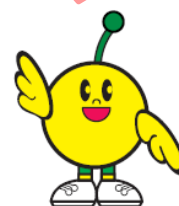
2 「ふくしま子ども寄附金」による新たな支援について

平成24年12月県議会において福島県東日本大震災子ども支援基金条例の改正が議決され、震災孤児・遺児の支援に加えて、支援の対象を県内全域の子どもたちへと拡大し、下記の5つの視点から新たな支援を行っています。

〔新たな支援の5つの視点〕

- ① 災害・避難等により不便を強いられている子どもへの支援
- ② 子どもたちの将来につながる取組
- ③ 子どもたち及び保護者が元気になる取組
- ④ 子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取組
- ⑤ 子どもたちの本県復興への参画

次ページ以降で
紹介します





ふくしまパフォーミングアーツプロジェクト

1 事業概要

本県の子どもたちが、プロの劇作家や音楽家等から支援を得ながらミュージカルの創作・公演を行った。

2 事業実施時期

平成27年4月～平成28年3月

3 参加者数

延べ1188名

4 事業実施による効果

県内各地から中学生・高校生が参加し、ミュージカルを創作して公演を開催するまでの課程を通じて、子どもたちの創造する力を育むことができた。また、公演に向けた情報を県内外に発信したことで、県外からも多くの方が来場し、福島の現在の姿を発信することができた。

5 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 文化振興課 (TEL: 024-521-7154)



5月4日 大友良秀先生による「音楽」トライアル・ワークショップ



3月26日 「タイムライン」福島公演の様子





ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業

1 事業概要

県内の3か所の商店街で、小・中学生が商店街の訪問調査や商店街マップの作成、販売体験等を通じて、商店街について学びながら賑わいを取り戻す方法を検討した。

2 事業実施時期

平成27年7月～平成28年2月

3 参加者数

45名

4 事業実施による効果

子どもたちの提案で、カフェの営業や商店街で販売する食品の開発、イルミネーションのイベント等の開催が実現した。このワークショップを通じて、地元の商店街についてほとんど知らなかった子どもたちが、ふるさとの顔である商店街を見つめ直す機会となった。

また、商店街活性化への貢献を通して、「ふるさとがもっと好きになった。」「まちづくりの取組に参加したい。」という子どもたちが増えた。

5 お問い合わせ先

福島県商工労働部 商業まちづくり課 (TEL: 024-521-7126)



10月17日 会津若松市本町商店街
カフェ「よみがえる」オープニングセレモニー

11月13日 本宮市商店街
もとみやライトファンタジア点灯式





ふくしまの未来を担う高校生海外研修支援事業

1 事業概要

福島県が原子力発電の事故により世界から注目されている中、復興を目指し県民が努力している姿や、その現状を世界の人々に伝えていく必要があることから、将来福島国際化を担うグローバルな人材を育成するために、教育活動の一環として実施する海外ホームステイ研修に参加する県内の高校生に対して、参加経費の一部を支援した。

2 事業実施時期

平成27年7月～平成28年1月

3 参加者数

223名



6月26日から7月9日

4 事業実施による効果

福島南高等学校のイギリス留学の様子

ホームステイ先の文化・自然に触れることにより、異文化に対する興味を持つとともに、自国の良さを再認識することができた。

また、ホームステイ先で福島現状を発信し、質疑応答を行ったことにより、英語力が向上しただけでなく、グローバルな視点で改めて福島現状を考えるきっかけとなった。

5 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課 (TEL: 024-521-7773)

3月14日から23日 若松第一高等学校のオーストラリア留学の様子



サッカーを通じたふるさと再生事業

1 事業概要

東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所の事故により一時移転を余儀なくされたJFAアカデミー福島選手を本県に招へいし、県内の子どもたちとサッカーを通じた交流を行うことで、県民とアカデミーとの絆の再構築を図った。



10月10日 檜葉町での
ふれあいサッカーきょうしつ

2 お問い合わせ先

福島県企画調整部 地域政策課
(TEL: 024-521-7119)

「チャレンジインターンシップ」若者の学び・体験支援事業

1 事業概要

本県の高校生・大学生が、復興に向け意欲的に活動しているNPOでインターン活動を行い、復興に関わることで、若者自信が復興について考え、福島への愛着心を深めた。

2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 文化振興課 (TEL: 024-521-7179)

子どもたちによるふるさと「ふくしま」学びの事業

1 事業概要

本県の子どもたちが、復興に向けた地域の現状やふるさとのすばらしさを学ぶため、地域の方々に取材を行った。

地域の置かれている状況や今後の課題等に触れ、新聞等にまとめて表現することにより、「ふくしま」の現状や未来を伝えるとともに、復興を担う子どもたちの育成と学びを通じた地域コミュニティの再生を図った。



2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 生涯学習課 (TEL: 024-521-7784)

スポーツ環境復興緊急対策事業

1 事業概要

福島県のお家芸と言われた10競技を対象に、震災により運動の機会を奪われた県内の子どもたちに種目の楽しさが体験できるチャレンジ講習会に実施した。その種目に興味を持った子どもたちが指導を受けることにより、自己のレベルアップに意欲的に取り組む姿勢を身につけた。

2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 スポーツ課（TEL：024-521-7795）

福島の輝く未来へ！スポーツわくわくプロジェクト

1 事業概要

子どもたちの将来の自分づくりの一環として、小中校生を対象に、様々なスポーツ分野のトップ選手や指導者との交流を通じて、スポーツの楽しさ・達成感の喜びを分かち合う感動の共有及び豊かな国際感覚を持った青少年の育成を図った。



6月28日

2 お問い合わせ先

チアリーダーから学ぼう！ダンス教室

福島県文化スポーツ局 スポーツ課（TEL：024-521-7795）

ふくしまキッズ夢サポート事業

1 事業概要

下記の5つの視点で取り組む民間団体からの企画提案を公募し、審査の上、採択事業に対して補助を行った。

- 【5つの視点】
- ① 災害・避難等により不便を強いられている子どもへの支援
 - ② 子どもたちの将来につながる取組
 - ③ 子どもたち及び保護者が元気になる取組
 - ④ 子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取組
 - ⑤ 子どもたちの本県復興への参画

2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 こども・青少年政策課（TEL：024-521-7198）

子どものからだところを育む事業

1 事業概要

東日本大震災の影響により、様々なストレスや制限を受けて生活を送っている子どもたちの元気な体と豊かな心を育むため、客席の児童も参加できる児童劇や、ハンドパペットを使用した人形劇を実施し、情操の発達を促した。

2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 子ども・青少年政策課（TEL：024-521-7198）



元気なふくしまっ子食環境整備事業

1 事業概要

東日本大震災後の子どもたちの健康課題へ対応するため、部局連携により、家庭・学校・地域が一体となって食育推進体系を再構築し、指導者の育成や派遣、食体験・交流の取組を通して、「元気なふくしまっ子」が育つ食環境整備を進めた。

- 【取組内容】
- ・スリムアップイベントの開催
 - ・食体験・交流推進活動
 - ・ふくしまっ子ごはんコンテストの開催 等

2 お問い合わせ先

福島県保健福祉部 健康増進課（TEL：024-521-7640）

福島県農林水産部 農産物流通課（TEL：024-521-7354）

福島県教育庁 健康教育課（TEL：024-521-8409）

子ども「ふるさと福島」魅力発掘プロジェクト

1 事業概要

本県の子どもたちが、震災後改めて地域の魅力や素晴らしさを再発見し、新たな観光資源を磨き上げていく取組を推進した。地域の新たな魅力を発見し、全国に発信することで、福島への愛着心を醸成することができた。

2 お問い合わせ先

福島県観光交流局 観光交流課（TEL：024-521-7398）

森林とのきずな事業

1 事業概要

県民参加の森林づくり活動を推進し、豊かな森林を次世代へ継承していくため、次代を担う子どもたちが森林を守り、育てる活動を支援した。

- 【取組内容】
- ・森と遊ぶ交流会の開催
 - ・県外交流会への小学生の派遣

2 お問い合わせ先

福島県農林水産部 全国植樹祭推進室（TEL：024-521-8628）



土砂災害から命を守る防災教育事業

1 事業概要

次世代を担う子どもたちに対し、土砂災害による人的被害の軽減と、防災意識の高い人材の育成を図る目的で、「土砂災害から命を守る」出前講座を実施しており、その際に使用する映像記録や副読本を作成し、子どもたちの関心度や理解度の向上を図った。

2 お問い合わせ先

福島県土木部 河川港湾総室 砂防課（TEL：024-521-7492）

子ども未来創造まちづくり事業

1 事業概要

高校生等を対象としたワークショップやフォーラムを開催し、地域の宝の発見やまちづくりについて考える機会を設けることで、本県の将来の担い手を育成した。

- 【取組内容】
- ・ハイスクールサミット in 福島
 - ・喜多方 蔵ワークショップ
 - ・喜多方 漢字（古代文字）ワークショップ

2 お問い合わせ先

福島県土木部 まちづくり推進課（TEL：024-521-7511）



子どもがらみだす ふくしま復興体験応援事業

1 事業概要

子どもたちが主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことを通じて、新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成を図るため、学校、企業、市町村、子供会等の各団体が企画する社会体験活動に対し、経費の一部を補助した。

- 【取組内容】
- ・仮設住宅を継続的に訪問する活動
 - ・風評被害などを経験した地域と交流をする活動
 - ・専門性を活かしてふくしまを発信する活動

2 お問い合わせ先

福島県教育庁 社会教育課（TEL：024-521-7799）

子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト

1 事業概要

震災で被災した子どもたちとその親たちが、絵本や児童書とのふれあいや読み聞かせなどの事業を通して、心の復興を図り、親と子のふれあいを深める機会を設けた。



2 お問い合わせ先

11月3日 会津稽古堂での読書フェスティバル

福島県教育庁 社会教育課（TEL：024-521-7799）

社会自立を目指すスキルアップ事業

1 事業概要

特別支援学校高等部の生徒の社会参加・自立を促すため、特別支援学校作業技能大会を開催し、日頃の進路に関する学習の成果を発表し、外部専門家から客観的な評価を受けるとともに、企業に対する理解啓発を送信する機会を設けた。

2 お問い合わせ先

福島県教育庁 特別支援教育課（TEL：024-521-7780）

寄附をくださった皆様へのメッセージ

給付金をお届けしている児童・生徒や保護者の方々から、寄附をくださった方へ寄せられたメッセージをご紹介します（※一部内容を編集しています。）。

<p>◆寄附をくださった方へのメッセージ◆</p> <p>寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。 (いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)</p> <p>震災で父を亡くし、 これからどうしようと 思っていた時、心あたたまる 寄附のおかげで、希望ある 高校に入ることができ かみかっています。 本当にありがとうございます。 こころいいます。</p> <p>学校 小学校・中学校・<u>高校</u>・その他() 学年 <u>2</u>年生 ※お名前を書く必要はありません。</p>	<p>◆寄附をくださった方へのメッセージ◆</p> <p>寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。 (いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)</p> <p>いつもお世話になっております。 皆様のおかげで毎日楽しく学校に 通うことができます。ありがとう ございます。現在学校では自分が 学びたいと思っていた生物系の学問を 勉強しています。これからも勉強、 部活ともに頑張りたいと思います。</p> <p>学校 小学校・中学校・高校・<u>その他</u>(<u>大学生</u>) 学年 <u>3</u>年生 ※お名前を書く必要はありません。</p>
---	---

いつも僕たちのためにお金を寄附してくれてありがとうございます。
僕は野球部なので、少しでも努力してがんばりたいです。
これからもよろしくお願いします。

【中学1年生】

これまでの5年間、たくさんの寄附をしていただきありがとうございます。
僕は今、中学3年生で最後の音楽祭に向けてクラス全員で取り組んでいます。
昨年の音楽祭では、銀賞という悲しい結果に終わってしまいました。
今年は金賞をとれるように、全員で力を合わせて取り組んでいきます。

【中学3年生】

いつもありがとうございます。
寄附金を必要なものを買うのに使わせてもらっています。
自分もがんばるので、これからもよろしくお願いします。

【中学3年生】

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

震災後に産まれた息子が
5才になりました。多くの方
に支えられてここまで大き
なれたと、感謝しています。

学校 小学校・中学校・高校・その他(保育園)

学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

早いもので5年の月日が流れる僕たちも
ずいぶん成長しました。
お陰様で上の子は今年から専門学校へ
通っています。お陰様で就職が進学がと
小遣いがあるので、たくさんの方々の
ご支援があるので進学をさせて頂くこと
になりました。自宅から1時間30分ほどの通学
で、お陰様で泳ぎも早起きをして頑張っ
ております。また下の娘も2年後は東京へ
進学したいという思いから日々勉強に
力を入れています。正直申しあげると
お陰様での生活では考えられないほどの
金銭の負担におどろきました。皆様からの
ご支援とお陰様で子供の希望を叶えておられ
本当に感謝しております。

学校 小学校・中学校・高校・その他(専門学校)

学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。

寄付をくださった皆様ありがとうございます。

私の姪も今年度で小学五年生になり、町のスポーツクラブに入部しました。

最近反抗期にもなり、一歩、大人の階段を昇りつつあります。

いまのまま、心優しい大人になるように見守っていきたいです。

【保護者】

こんにちは。震災の日から6年目を迎え、幼かった孫も高学年生になりました。

2年生のときからスイミングスクールに通いました。少しずつですが上達し、今年は
6年生による市立小学校水泳競技大会に参加することになりました。毎日の練習で真黒
に日焼けをしながら楽しい学校生活を送っています。

大勢の方々からの心温まるご支援ありがとうございます。

孫共々、感謝と思いやりを忘れずに心掛けていきたいと思っています。

【保護者】

いつも支援を頂き、ありがとうございます。

お陰様で、子どもも中学校の生活に慣れ、毎日部活に励んでいます。目標に向かって
努力している姿に、私たち保護者も少しでも力に変えられるようにサポートしていき
たいと思っています。

【保護者】



平成28年8月発行

福島県 子ども未来局 子ども・青少年政策課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話：024-521-7198

E-mail:kodomoseisaku@pref.fukushima.lg.jp

福島県庁ホームページ

[ふくしま子ども寄附金](#)

[検索](#)